

わっさむ健康づくり応援事業 当選者が決まりました！

和寒町では、『わっさむ健康づくり応援事業※』を実施しています。5月18日に令和2年度の対象者276名（平成30年度から令和2年度の3年連続で『健康診査』と『がん検診2種類以上』を受けた方）の中から奥山町長が抽選し、当選者が決定しました。

特賞 1名様：体重計（体組成計）

船本 裕一 様（北原）

ヘルシー賞 2名様：自動血圧計

諸岡 ゆみ子 様（三笠）、大木 千枝子 様（南町）

減塩賞 7名様：減塩食品詰め合わせ

山本 彰 様（三笠）、武田 幸子 様（北町）
池澤 和子 様（西和）、小西 松子 様（東町）
加藤 嘉子 様（西町）、奥野 艶子 様（西町）他1名



※わっさむ健康づくり応援事業とは？

令和元年度から、健康づくりに取り組む町民を応援することを目的に始めました。対象条件を満たした方の中から抽選で10名様に健康に関するグッズをプレゼントいたします。

【対象条件】20歳以上の町民で、以下の健診（検診）を3年連続受けた方※¹

健康診査

以下のいずれかを受けた方

- ①町の健康診査
- ②個人で受けた人間ドック※²
- ③職場の健康診査※²
（特定健診に準ずる項目）



がん検診

- ・肺がん検診
- ・胃がん検診
- ・大腸がん検診
- ・子宮がん検診
- ・乳がん検診

このうち、
2種類以上を
受けた方



※¹ 20～34歳以下の男性については、健康診査を3年間受診していただくと抽選対象になります。

※² ②、③の方は、結果（写）を保健福祉センターにご提出ください（印鑑必要）。

お問い合わせは保健福祉課保健係（TEL32-2000）まで

こんどう じゅうぞう 近藤 重蔵 って誰？

No.1

生誕250年を迎えて

今年、生誕250年を迎える近藤重蔵。実は和寒にもゆかりがあり、塩狩に「近藤重蔵ゆかりの地」の碑が建立されています。しかしながら、近藤重蔵がどのようなことをした人物なのか皆さんご存じでしょうか？「広報わっさむ」では近藤重蔵について、連載記事としてご紹介させていただきます。

近藤重蔵は、今から250年前の1771年に江戸で与力（旗本と同心の間の地位）の家柄に生まれました。学問、剣術とも優秀で、徳川幕府の役人として蝦夷地の調査に5回訪れています。

外国の海外進出に対する警戒や蝦夷地対策について、しばしば幕府の上層部に意見を上申しています。

その5回目（1807年）は、6月に幕府の命により江戸を出発し、9月「ソウヤ」地方を巡見してから、10月天塩川を遡上する調査を開始しました。「ケヌフチ」（天塩川と剣淵川の合流地点）を経て、11日「山越え、山中泊」（塩狩峠付近）、12日「タナシ」（比布の棚瀬山）に到達。これが近藤重蔵の『テシオ越』（天塩川流域から、石狩川流域へ）と言われています。

【図書館にある資料を紹介します】

北海道の歴史がわかる本（桑原・川上 編）

新旭川史（旭川市 編）

お問い合わせは産業振興課・町立図書館まで

